

龍雲寺 花園会報

二〇一四年 正月号

監修／細川晋輔 編集／細川要子

○妙心寺 URL <http://myoshin.com/>

○龍雲寺 URL <http://home.catv.ne.jp/rr/ryuunji/>

〒一五四一〇〇〇三

東京都世田谷区野沢三二三八一

TEL〇三―三四二一―〇二三八

FAX〇三―三四一八―九八六三

あいさつ

新命住職 細川 晋輔

平成二十六年の新春を迎えました。皆様方におかれましては、それぞれの思い出新年を迎えられたことと存じます。

思い返せば昨年は、去年は龍雲寺にとっても、私にとっても生涯忘れられない一年となりました。それは、十一月に晋山式が挙行され、龍雲寺の第十二世の住職を無事に拝命させて頂いたことです。あらためまして、ご協力下さった方、ご参列下さった方、残念ながらご欠席だった方等、それぞれたくさんの方々の御陰をもちまして無事に圓成することが出来たこと、深く感謝申し上げます。

父・景一和尚が晋山式を約四十年前に行った時には、先代の宗源和尚は病床であられ、父が住職になってすぐに亡くなられたそうです。それこそ、住職になるにあたり、先代に教えて頂きたいこと、相談したいことも沢山あったそうが、それは叶わなかったそうです。

そう考えると、私は若くして住職となりましたが、父が元気なうちに住職を交代できたことは、まことに心強い限りでございます。

「晋山式の式次第」にも書いておきましたが、私のことは「新命（副住職）」、父のことは今まで通り「方丈さん」と呼んで頂ければと思います。住職は交代しましたが、いい意味で変わりなく、今まで通り檀信徒の皆様とお付き合いできたらと、寺内一同願っております。

龍雲寺の住職となって初めての新年を迎えるにあたり、皆様にとって幸せな一年と成りますことを、心より祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。一月七日の大般若でお目にかかれること楽しみにしております。

大般若会

平成二十六年一月七日（火）

於・龍雲寺本堂

午前十一時

御詠歌奉詠

午後十一三十分

法話

正午

法要 後昼食会

※お申し込み不要、会費は一家族二千元

今年も別便のご案内は出しません。皆さん

お誘いの上一人でも多くご参加下さい。

行事予定

一月 七日（火）大般若会

一五日（水）初釜

二月 八日（土）開山忌

二月 十七日（月）二十日（木）

三月 三日（月）五日（水）台湾三十三観音巡礼

三月 七日（金）東京教区奉詠大会（於・龍雲寺）

三月 十日（月）十三日（木）第八次四国八十八ヶ所巡礼①

三月 二十一日（金）彼岸会

四月 十二日（土）十四日（月）妙心寺参拝と伊勢の旅

五月 十二日（月）十五日（木）第二次坂東三十三観音巡礼①

五月 二十六日（月）二十九日（木）第八次四国巡礼②

六月 未定 第一三四回三峰榛名講

七月 十七日（木）施餓鬼会

八月 一日（金）三日（日）盆踊り大会（環七駐車場）

八月 十五日（金）十七日（日）第九次妙心寺と五山送り火の旅

九月 二十三日（火）彼岸会

十月 未定 第十一次天満敦子バイオリンコンサート

十月 十五日（水）十七日（金）全国奉詠大会

十月 二十七日（月）三十日（木）第二次坂東三十三観音巡礼②

第二次坂東三十三観音巡礼②

ご挨拶

閑栖住職 細川 景一

新年明けましてお目出度うございます。
本年も宜敷しくお願いいたします。

さて、古代の中国に、夏の桀王を倒して殷王朝を建てたと伝えられる湯王がおりました。その湯王は毎日手や足や顔などを洗い清める為に水を溜める水盤に、次の様な句を彫り込み日々反省したと云われています。

日に新たに、

日に新たに、

又日に新たななり。(大学)

今日のこの日には、昨日とは違う新しさがあり、明日という日にはさらに今日とは違う新しさが加わる様に、一日一日が自分にとって新しい向上の連続でありたいという意です。昨日より今日、今日より明日となにかを求めて前進してゆく。朝起きて洗面所で顔を洗う。鏡を見て昨日の自分と違う顔を見る。楽しいではありませんか。(景一)

『十牛図』について

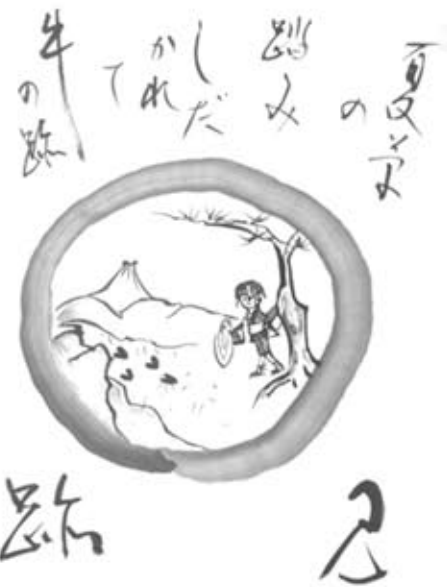
二、見跡(跡を見る)

「夏草の 踏みしだかれて 牛の跡」

坐禅や写経などの修行を積んだ結果、ボウボウ

と盛んに生い茂っていた草の様であった煩惱妄想が、図のように薄くなり、すっきりした様子がわかります。その中に私たちが目指すべき悟り(幸せ)である牛の足跡が見つかったという段階です。まだまだ本体の牛は姿形も見つからないが、やっと草が薄くなったことよって、その足跡は見つけることができたというところです。しかし、足跡を見つけたからと行って幸せになれるわけではない。この足跡を見失わず本体を探し当ててなくてはならない・・・まだまだ油断は禁物です。

「正月」の「正」という字には「修正」という意味もあるそうです。それは、正月の一月一日には自分の一年を振り返り、反省すべき所は反省して、修正してから新年を過ごすということです。みなさんも是非、新年にあたって探すべき牛を探してみてください。(細川晋輔)



晋山式の写真



募集中

◆花園会 禅・仏教講座ご案内

花園大学の先生方による、禅と仏教についての講座です。

一月 十八日(土) 西山 美香 氏

建長寺と円覚寺 — 鎌倉五山 —

野口 善敬 師

博多三利 (聖福寺・承天寺・崇福寺)

二月 十一日(火) 山川 宗玄 老大師

白隠禅師 坐禅和讃

☆会費 一〇〇〇円 (当日集金)

☆時間 午後二時〜五時

☆お問い合わせは龍雲寺まで

◆無相教会花園流御詠歌会員募集

一月二十七日(月)・二月二十五日(火)

三月 十七日(月)・四月 七日(月)

五月 八日(木)・六月 三日(火)

男性・女性どちらでも可

会費は無料、お弁当代六百円のみ。貸出用の御詠歌のお道具有り、見学自由、全員イス席で講習を受けます。自主練習 (不定期)。男性もどうぞ。

○他にも龍雲寺では囲碁の会・茶道部・法声会 (長唄・三味線)・獅子舞・子ども会・かっぱれ・ヨーガ・ピラティス等があります。



◆早朝洗心坐禅会 (申込不要)

毎週日曜日 朝六時半〜八時半

会費 無料

坐禅用のイスもご用意しています。

◆写経会 (申込不要)

毎月第二土曜日 一時〜四時

(但し、七月、八月はお休み)

納経料は 一卷五〇〇円 (龍雲寺に納経)
来られない方は、お写経をお渡しいたします。

でご自宅でゆっくりお写経をどうぞ。
イス席もご用意しています。

◆龍雲寺厚木墓地のご案内

開修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせて頂きます。

A (一五〇×一五〇) 永代使用料二二五万円

B (一五〇×一四〇) 永代使用料二一四万円

ABとも納骨棺、塔婆立、拜石等の外柵工事費を含みます。

このままで直ちに納骨できます。右記の額を直接お寺にお納め下さい。詳細につきましては龍雲寺まで。

◆納骨堂 (お遺骨一時預り 無料)

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方たちが、ご不幸があつて慌てて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持つて下さるようという考えで十数年前に納骨堂を本堂の裏側に建てました。いつもお参りの方がいらしています。

◆NPO 東日本大震災復興支援

『浜ばっぱのぞうきん』

※龍雲寺にて浜ばっぱのぞうきんを置いてあります。 一組四〇〇円

募集中

詳しくは龍雲寺まで
お早めにお申し込み下さい。

◆温泉とグルメの旅

三月三日(月)～五日(水)

四国観音巡礼で以前宿泊した好評の宿、水明館・べにやさん・大安寺・越前大仏・長野方面へ。

◆第八次 四国八十八ヶ所巡礼①

三月十日(月)～十三日(木)

今年が開創一二〇〇年です。ご朱印ではなく、開創一二〇〇年を記念して、青いご朱印だそうです。特別御開帳が各寺であります。四回で満願となります。

◆東京教区 本山奉仕団参拝

妙心寺参拝と伊勢の旅

四月十二日(土)～十四日(月)

会費 六〇〇〇円(二名一室) 一月三十一日メ切り
☆新命が随行させて頂きます。大徳寺や伊勢神宮等、未公開寺社の特別拝観もあります。詳しくは新命まで問い合わせ下さい。

◆第二次 坂東三十三観音巡礼①

五月十二日(月)～十五日(木)

西国三十三観音・秩父三十四観音巡礼と坂東で百観音巡礼となります。二回で結願となります。

◆第八次 四国八十八ヶ所巡拝②

五月二六日(月)～二十九日(木)

◆第九次 妙心寺と五山送り火の旅

八月十五日(金)～十七日(日)

◆第二次 坂東三十三観音巡礼②

満願の旅

十月二十七日(月)～三十日(木)

大般若会とは？

唐の玄奘三蔵法師がインドから持ちかえり四カ年を費やして翻訳された最大の教典「大般若波羅蜜多經」六百巻を転読、依持する法要です。

仏前には、悪心を取り除く働きのあるといわれる「十六善神」の尊像を掛け人間としての真の幸福と世界平和を祈願する法要で、中国では長い歴史の中で鎮護国家と除災招福を願う重要な祈祷会とされてきました。

日本では文武天皇の大宝三年(七〇三)に行われた記録が「続日本紀」にあります。

新しい年を迎えて今年一年の息災を祈ろうではありませんか。

編集後記

○新しい年を迎えられて、皆様いかがお過ごしでしょうか？○昨年十一月の晋山式は、おかげさまで無事に終える事が出来、ありがとうございます。○準備段階から総代世話人・若い方々・書生さん達のお世話になりました。○六百人を越える方々の中を孫の泰弘、桃子は献華・献燈をさせて頂きました。○皆様に御詠歌は、もっと聴きたかったとか。茶道部は南薫亭でお抹茶を。子ども会やお稚児さん担当の方々は一三七人の子どもを相手に走り回り、消防団・綱引きは交通整理、お囃子と法声会の長唄・三味線は最高の出来栄でした。三十年前は住職と皆さんが長唄を始めていましたが、鶏が首を絞められた様な声でぬかみそが腐るのでは？と心配しました。住職は直ぐに辞めてしまい、他の皆様は今まで続けられて、凄いなと思いました。継続は力なり！○坐禅会の岡村さんから、方丈さんの碧巖録の話が二十年経ちましたとお話がありました。○下呂温泉・水明館さんとは長いお付き合いで、私が小学校の頃、古川大航管長様と侍衣さん、父の松原泰道と四人で泊めて頂き、初代の滝豊子女将に三つ編みを編んで頂いた思い出があります。芦原温泉べにやさんは滝晴子女将のご実家で前回好評のお宿に宿泊します。大安寺・越前大仏様を特別拝観の予定です。○毎年、埼玉県行田市の川上さんから無農薬のお野菜を頂いて粕汁を作ります。○子ども会のお餅つきは、三五〇人位来られました。○巡拝・巡礼等のお申し込みは、お早めにお願います。ぜひ直接龍雲寺まで、お問い合わせ下さい。○暮れにお寺でついたお供えのお餅はつき直してお汁粉に。大般若会でお目にかかれることを楽しみにしています。○山内一同皆元気です。お元気で。要子